

プレスリリース

改訂日：平成 19 年 11 月 21 日

発表日：平成 19 年 11 月 12 日

各位



富山県高岡市二塚 322 番地の 3

株式会社タカセイコー

代表取締役社長 笠井 千秋

ナイロン製燃料タンクの開発に成功

当社は、国内初となるナイロン樹脂を用いた二輪車用樹脂製燃料タンクの開発に成功した。

この樹脂タンクは、川崎重工業様との共同開発により、同社の新規開発モデル（KLX140）の燃料タンクに採用され、北米向けに輸出される。

当社は、北米で強化される燃料透過規制対応として、既にフッ化処理技術を日本で初めて導入済みであるが、今後予想される北米以外への透過規制強化の動向に対処する為、透過規制対応手法の選択肢拡大に向け開発を進めていた。

これまで、ナイロン樹脂単層ブロー成形工法は、燃料透過性能は優れているものの低温での衝撃強度の不足や耐候性、更に成形そのものの難易性から、燃料タンクへ採用される事は無かった。これを当社は、2年に渡る材料メーカーとの共同開発により問題点をクリアし、ナイロン製ブロー成形燃料タンクの製品化技術を確立した。

今回確立した技術は、他の規制対応に比べ新たな設備投資を必要としない上、塗装による加飾性での商品性向上など、従来のPE（ポリエチレン）製樹脂タンクでは成し得なかった特性も発揮出来ることとなる。

当社は、従来から取引のある二輪メーカーのほか、新たに汎用エンジンメーカーへも売り込みを図り、二輪車での実質初年度となる 08 年度は 5 千万円、汎用エンジンでの規制が本格化する 09 年度以降は、年間 5 億円以上の売上を見込んでいる。

以上

本件に関するお問い合わせ先： 車両事業部 門口、高道 TEL: 0766-24-5522